

地域資源利用学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 三原真智人, 中村好男, 中村貴彦, 藤川智紀

◆学習・教育 (到達目標を記載)

水資源や土地資源のみならず生物資源も含めて地域資源と捉えて本特論を進めていく。本特論では、これらの地域資源の持続可能な利用を進める上で必要となる土壌・水環境の修復保全技術や住民参加による地域資源の管理・利用方法について習得することを目標とする。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

水資源	土地資源	生物資源	自然資源
管理・利用	地域生態	修復保全	住民参加

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	土壌・水環境の修復保全 (第1週～6週)	地域資源の持続可能な利用を進める上で必要となる土壌・水環境の修復保全技術について扱う。特に、流域における水環境の評価手法を習得するとともに、汚濁物質の面源となっている農業生産域における営農と水環境との相互関連性について理解を深めていく。	資料を熟読し、予習しておく。 復習として、授業内容の振り返りおよび課題に取り組む。
2	地域資源の管理・利用 (第7週～12週)	生物資源を含めた地域資源の持続可能な利用のためには、適切な管理が不可欠となる。ここでは、住民参加に基づいた地域資源の管理・利用について扱っていく。	資料を熟読し、予習しておく。復習として、授業内容の振り返りおよび課題に取り組む。
3	地域生態の評価および自然資源の管理(第13～15週)	地域における生態系の評価手法および自然資源の持続可能な管理・利用について習得する。	資料を熟読し、予習しておく。復習として、授業内容の振り返りおよび課題に取り組む。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業中のレポートとディスカッション (70点) および小テスト (30点) をもとに評価する。

◆オフィスアワー

授業日の 18:00 から 19:00。

◆その他受講上の注意事項

・メールによる質問や問い合わせについては次の通り

三原真智人 (m-mihara@nodai.ac.jp)